

震災記録



日野病院から患者を近くの根雨社会体育館に避難、その後他病院に転送する（写真：共同通信社）

震 災 記 録

鳥取県日野町（平成12年10月6日現在）

世帯 1,575世帯 人口 4,622人

平成12年

10月 6日（金） 晴

- 13:30 地震発生 震度6強 M7.3（震度1以上の余震189回発生）
- 13:35 日野町災害対策本部を設置（以後、随時、対策会議を開催）
- 13:35 防災行政無線により地震発生（火の始末、ガスの元栓を締める）、安全な場所への避難を周知（14:50まで9回）
- 13:40 小・中学校児童生徒、各校庭に全員避難、全員無事。夕方までに保護者が迎え下校
- 13:43 防災行政無線により火災予防を呼びかける（根雨地区用用水路に水利なし）
- 13:45 町消防団出動、災害対策本部体制で被害状況等調査開始
- 13:45 ライフライン（水道）調査、応急復旧作業開始
- 14:00 各保育所、おしどり荘、かじか荘の入所者の無事を確認
- 14:00 非常食の確保（パン・飲み物等を避難場所への配布 15:00～18:00）
米の確保（鳥取西部農協日野町支所へ）
- 14:00 給水車の要請（鳥取県西部災害対策本部へ）
- 14:00 鳥取県に職員派遣を要請
- 15:00 日野病院、患者を他の病院に転送 10人
- 15:38 防災行政無線により、自治会長に、住民の安否確認を依頼
- 15:40 避難場所を指示
根雨社会体育館・日野中体育館・山村開発センター・町公民館・黒坂小体育館・老人福祉センター・菅福小体育館・町老人憩いの家・下榎集会所
- 16:00 日野病院、患者を根雨社会体育館へ避難 64人
- 16:50 町道の被害状況調査・確認（2班・18:30まで）
- 17:00 陸上自衛隊米子駐屯地に炊き出し、風呂等の支援を要請
- 17:00 義援物資受付（物資が届く）
- 18:00 日野病院、患者を他病院へ10人移送完了
- 18:00 防災行政無線により、避難場所を周知（22:00まで7回）
- 18:10 防災行政無線により、保育所・小中学校の臨時休校を周知
- 18:20 避難場所の入所者数 337人
- 19:00 避難勧告第1号発令
根雨1区・2区の一部、23世帯37人（急傾斜地）
避難場所：日野中学校体育館
- 19:30 避難場所（9か所） 入所者数 642人
- 19:47 避難所炊き出し（7か所・380食）
- 20:30 避難所炊き出し（3か所・85食）
- 21:00 自衛隊炊き出し班到着・同給水車6台到着
- 21:20 防災行政無線により、空き巣等の注意を呼びかける
- 22:00 給水車の到着（鳥取市2台・岩美町4台・船岡町2台、泊村1台）

- 22:00 被害状況の合同記者発表（助役・企画振興課長、大会議室に記者約50人）
 - 22:35 災害救助法適用、県より連絡を受ける
 - 23:15 防災行政無線により、給水について周知（23:25まで3回）
 - 23:15 町公民館において住民へ給水開始
 - 23:25 安原において住民へ給水開始
 - 23:30 避難所炊き出し（10か所・789食）
 - 23:40 防災行政無線により、火気取り扱い注意を呼びかける（22:00まで7回・1日に25回）
 - 24:00 町消防団員は消防センター・消防車庫で、町職員は全員役場で待機
- J R伯備線不通、国道180号・181号土砂崩れ全面通行止め
 県道、町道・農道・林道全面通行止め（多数のか所で発生）
 山林等土砂崩れあり

10月 7日（土） 晴

- 0:20 炊き出し弁当を県に要請（7日昼食分・1,000食）
 - 1:00 生田町長、韓国から帰庁、直ちに助役が被害状況を報告
 - 1:30 第2回被害状況の合同記者発表（生田町長）
 - 6:00 給水車の到着（山口県小野田市1台、山口県下関市2台）
 - 6:30 町長が、防災行政無線により、町民へ見舞い・激励する
 - 6:30 家屋等被害状況の調査開始（町消防団・役場5班編成）
 - 6:30 簡易トイレ50・トイレットペーパー500箱確保、自治会へ周知
 - 6:30 ライフライン（水道）及び公共土木等の被害状況の調査、応急復旧
 - 6:30 避難所他への炊き出し（10か所・738食）
 - 6:40 防災行政無線により、家屋の被害調査等を周知
 - 7:00 給水車11台による給水、7か所で開始
 - 7:00 自衛隊・町食生活改善委員会により、9避難場所へ配食開始
 - 8:30 町内の小・中・高校休校、保育園休園
 - 8:30 町営住宅（漆原）への炊き出し（40食）
 - 8:30 保健婦（町・県派遣）による巡回相談開始
 - 9:00 現時点の被害状況
- 重軽傷者…17人 全壊…3戸、半壊…56戸、一部破損…344戸
 （家屋被害の報告分取りまとめによる） 道路…約90か所
- 9:50 炊き出し弁当を県に要請（7日夕食2,000食、8日朝食2,000食）
 - 10:00 日野病院、患者を他病院へ63人移送完了
 - 10:30 鳥取市職員等の応援を得て公共土木災害の調査・工法等検討（9日まで）
 - 11:00 片山鳥取県知事及び部課長の現地視察、激励①
 - 13:00 政府調査団の来町（蓮実国土庁総括政務次官他政府13省庁幹部担当官）
 - 13:00 炊き出し弁当を県に要請（8日昼・夕食、9日朝・昼・夕食各2,000食）
 - 13:18 災害廃棄物滝山仮置場を開設（自主搬入）
 - 16:30 兵庫県よりブルーシート1,000枚到着
 - 16:55 ブルーシート自治会へ配布開始

- 17:00 根雨・黒坂地区等水道 918世帯 (81.6%) 復旧
- 17:11 防災行政無線により、日野病院診療の周知 (10月8・9日 内科・外科・夜間)
- 18:15 日野中体育館へ毛布200枚、山村開発センターへ布団24枚
- 20:30 町議会全員協議会開催
- 22:00 町消防団員は消防センター・消防車庫で、町職員は全員役場で待機
- 22:30 防災行政無線により、国道180号通行止めを周知 (以後、適宜)

10月 8日 (日) 雨

- 7:00 ライフライン (水道) 及び公共土木等の被害状況の調査、応急復旧
- 7:30 くぬぎの森 (ごみ焼却場) の被害状況調査、応急復旧
- 7:30 根雨高校グラウンドでボランティア受付開始。
その後、文化センターホワイエに日野町災害ボランティアセンター開設
- 8:00 町消防団・土のう作り
- 8:30 保健婦 (町・県派遣職員) による避難所の巡回訪問
- 8:30 避難所である学校にポータブルトイレを設置
- 8:30 農林災害調査開始
- 9:00 国道180号 (藪津橋付近) 全面交通止め。定期バス生山線など農道濁谷滝山線をう回し運行
- 9:00 町内一斉独居老人宅を中心に屋根ブルーシート張り開始 (自衛隊・町消防団・広域消防・ボランティアで実施)
- 10:00 県による建物応急危険度判定 (13日まで)
- 10:55 炊き出し弁当を県に要請 (10日~13日朝・昼・夕食各2,000食)
- 12:30 県職員約20人が応援 (8日・9日)
- 12:40 国道181号の貝原地内ほか 土砂崩れ発生。同時に、防災行政無線により、危険箇所付近の自主避難を呼びかける
- 13:00 根雨・黒坂まち部の土砂除去 (収集) 開始 (町消防団ほか)
- 13:00 防災行政無線により、訪問販売注意を呼びかける
- 16:00 避難場所入居者を対象に、応急仮設住宅入居希望アンケート調査
- 17:00 根雨・黒坂地区等水道復旧 935世帯 (83.1%)
- 20:51 地震発生 (震度3) 警戒を強める
- 22:00 消防団員は消防センター・消防車庫で、町職員全員役場で待機 (3日間)

10月 9日 (月) 雨 (体育の日)

- 5:30 防災行政無線により、飲料水供給を周知
- 6:05 防災行政無線により、土砂崩れなど危険箇所付近の自主避難を呼びかける
- 6:13 大雨のため町消防団召集、被害状況調査及び警戒パトロール開始
- 6:30 町職員全員召集
- 7:20 大雨のため町対策本部、各班に全員体制確認を指示
- 7:30 防災行政無線により、大雨洪水警報・雷注意報発令を周知
- 9:00 災害廃棄物回収、シート張り、資材調達 60人
- 9:05 防災行政無線により、道路情報を提供

- ・全面通行止め（国道181号の下菅から岩田、主要地方道日野溝口線の黒坂から矢倉峠、菅沢日野線の黒坂から久住）
- ・片側交互通行（国道181号の貝原から三谷、180号の福長から西伯町）
- 11:00 中島弘県同和对策課長、県より派遣 10月17日まで駐在
- 11:40 防災行政無線により、訪問販売注意、保育所・小中学校臨時休校、可燃ゴミ収集、日野病院診療開始、おしどり荘（通所リハビリの休み）、応急仮設住宅第一次20戸建設を周知
- 11:40 防災行政無線により、大雨・洪水警報解除を周知
- 13:00 精神保健センター所長、保健婦（町・県派遣職員）による家庭訪問
- 15:28 防災行政無線で、通常の不燃ゴミと資源ゴミの収集（根雨・日野地区）を周知
- 16:00 県が応急仮設住宅24戸建設を決定
- 17:00 根雨・黒坂地区等水道復旧960世帯（85.3%）
- 17:36 防災行政無線により、避難所の食事、ガレキ収集、高等学校臨時休校を周知
- 18:00 自衛隊による仮設風呂開設（黒坂小・日野中・リバーサイドひの前の3か所）
- 18:00 職員の宿泊体制 各課で対応（ほとんどの職員が役場で待機）
- 18:22 防災行政無線により、全面通行止め（国道180号井ノ原地内）を周知
- 20:00 防災行政無線により、日ノ丸バス路線（渡線）変更、保育所・小中学校の臨時休校を周知

10月10日（火） 晴時々曇

- 6:00 防災行政無線により、飲料水供給を周知（以後、終了まで随時通信）
- 7:00 町消防団・警戒パトロール開始
- 8:30 日野病院、仮診察室（職員厚生室）で診療開始 10/30午前まで
- 8:30 保健婦（町・県派遣職員）による家庭訪問。日野病院及び他町の看護婦による避難所の巡回訪問（10月20日まで）
- 9:00 ボランティア活動で災害廃棄物収集運搬 36人
- 13:00 避難勧告第2号発令 下本郷 10世帯（40人）、7事業所（土石流）
避難場所：日野中学校体育館
- 13:00 町消防団・避難誘導及び警戒パトロール
- 16:06 防災行政無線により、日野病院の診察、及び仮設風呂の入浴時間を周知
- 17:00 災害対策本部と情報伝達交換のため、全自治会長宅（51）及び全避難所にファクシミリを設置
- 17:00 郵便局に義援金口座を設置（義援金が届く）
- 22:00 一部職員を残して自宅待機

10月11日（水） 晴

- 7:00 町消防団による土のう作り及び警戒パトロール開始
- 7:05 防災行政無線により、JR伯備線運休を周知
- 8:30 応急仮設住宅建設に着工
- 13:30 町議会全員協議会で現地視察
- 17:00 全町のブルーシート張りほぼ完了（広域消防、自衛隊、町消防団、ボランティア

アによる)

- 18:26 防災行政無線により、町長が、町民へお見舞いと復興の呼びかけ及び状況報告
- 20:28 防災行政無線により、建物の応急危険度判定の制度を周知

10月12日(木) 曇

- 8:00 根雨・黒坂地区等水道復旧1,094世帯(89.0%)
- 9:00 日野高等学校根雨校舎授業再開
- 12:00 根雨・黒坂地区等水道復旧1,064世帯(86.6%)
- 10:15 防災行政無線により、災害救助法による住宅の応急修理について周知
- 13:00 災害救助法による住宅の応急修理受付 10月16日まで(実績27件)
専決処分(地震災害発生による応急的に実施する事業。11/10町議会で承認)

| | |
|--------------|-------------|
| 一般会計(第3号補正) | 1,414,050千円 |
| 簡易水道特別会計 | 20,000千円 |
| 公共下水道事業特別会計 | 15,000千円 |
| 農業集落排水事業特別会計 | 41,000千円 |

- 20:23 防災行政無線により、国道、県道、町道などの復旧箇所測量のため、草刈・雑木の伐採作業の協力依頼

10月13日(金) 曇のち雨

- 8:00 根雨・黒坂地区等水道復旧990世帯(88.0%)
- 8:45 日野高校・日野産業高等学校授業再開
- 11:00 14日朝食(パン2,000食、ミルクティー1,000食をサンプラザに発注
14日昼食~16日夕食までを県に要請。17日朝食以降300食を町が発注)
- 14:20 防災行政無線により、悪質商法注意を周知
- 15:00 ライフラインの水道・全世帯復旧(1,125世帯、100%)
- 16:00 山本光範県商工労働部次長 日野町に駐在し、町と県の調整及び陣頭指揮
(11月2日まで)
- 16:50 避難勧告解除(根雨1区・根雨2区の一部)
- 16:52 避難勧告解除(下本郷の一部)

| | |
|---|-------------------------|
| 重軽傷者…17人 | 全壊…16戸、半壊…50戸、一部破損…344戸 |
| 道路災害…67か所、橋梁災害…1か所、河川災害…2か所、 農業災害…29か所、林業災害…53か所、教育関係災害…6か所、 土砂崩れ…約30か所 | |

- 18:00 下榎地区水道・時間給水(21時まで)

10月14日(土) 晴

- 6:00 下榎地区水道・時間給水(9時まで及び16時から21時まで)
- 9:00 被災住宅危険度巡回相談
- 9:23 防災行政無線により、住宅相談と住宅応急修理相談、燃えるゴミ持ち込み、ガレキ持ち込み、図書館の開館を周知
- 10:00 片山鳥取県知事及び部課長現地視察、激励②

- 10:05 地震発生（震度4）
16:10 石破農林水産総括政務次官及び担当官現地視察、激励
17:00 日野病院院長による職員健康検診（役場で）

10月15日（日） 晴

- 7:00 避難所閉所（ディサービスセンター）

10月16日（月） 晴

- 8:30 公共土木関係災害査定のため県職員2人（林俊治氏、松原孝介氏）派遣受入
8:30 町内の小・中学校再開、児童生徒登校。根雨・日野・黒坂の各保育所再開
8:30 り災証明に伴う家屋調査開始（7班編成／町職員1人と建築士1人）、り災証明の発行（調査終了分から随時）
10:00 谷農林水産大臣及び担当官現地視察、激励
13:00 町議会全員協議会開催
17:00 避難所閉所（山村開発センター）
17:15 職員の宿直体制3人に縮小、黒坂支所1人

10月17日（火） 雨

- 8:30 公費による家屋等の解体撤去受付開始（10/31まで）
13:00 避難所閉所（町公民館）
20:17 地震発生（震度4）、町消防団非常召集、町職員全員召集 同時に、防災行政無線により、地震発生と注意を呼びかける

10月18日（水） 雨

- 10:30 危険箇所等調査の結果、異常がないので、町消防団員・町職員解散
10:02 町長が、防災行政無線により、地震災害復興補助金について公表

地震災害復興補助金について

- ・住宅復興の補助：建築の補助金限度額 300万円、補修の補助金限度額 150万円
- ・石垣、擁壁の補修の補助：補助金限度額 150万円
- ・井戸の修復の補助：3/4以内 補助金限度額 45万円

- 13:00 鈴木消防庁長官視察、町消防団及び町職員を激励
18:30 町長が、防災行政無線により、地震災害復興補助金について再度周知

10月20日（金） 雨

- 9:00 応急仮設住宅入居者募集開始 10月23日まで
11:40 自治省・嶋津財政局長及び担当官現地視察、激励
片山鳥取県知事及び部課長現地視察、激励③
15:00 災害廃棄物分別作業10人 ボランティアによる作業終了（延べ391人）
15:14 防災行政無線により、町税・国保税・介護保険料の納期限の延期を周知
17:30 滝山災害廃棄物仮置場への持込みを一時中断

10月21日(土) 晴

18:00 下榎地区水道・時間給水(21時まで)

10月22日(日) 曇

6:00 下榎地区水道・時間給水(9時まで及び16時から21時まで)

10月23日(月) 雨

9:00 保健婦(町・県派遣職員等)による健康相談(10/27まで)

家庭訪問 747件、独居高齢者訪問 137件、要支援・要介護者訪問 86件、
乳幼児訪問 28件、要介護認定調査希望 10件、短期入所及び入所希望 11件

10:00 公費の家屋解体撤去作業業者説明会(町建設協会、町建築協会に依頼)

17:00 応急仮設住宅24戸完成

18:25 防災行政無線により、水道料及び下水道料の減免をお知らせ

10月25日(水) 雨

8:30 滝山災害廃棄物仮置場へ分別持込み再開

8:30 県による被災宅地危険度調査(10/27日まで)

10:00 応急仮設住宅入居者選考会

13:30 応急仮設住宅入居者説明会(役場大会議室) 24戸募集 23戸決定

14:00 町防災会議(役場第3会議室)

22:05 応急仮設住宅2棟4戸を、県に追加要望

10月26日(木) 曇

8:00 町内危険箇所現地調査(39ヶ所。町、根雨土木事務所、日野地方農林振興局。
27日まで)

9:00 応急仮設住宅23世帯入居開始

10月27日(金) 晴

8:00 避難所閉鎖(リバーサイドひの)

10:00 建設省・松野政務次官及び担当官現地視察、激励

15:00 下本郷地内に土石流発生時自動通報システム(サイレンあり)設置

10月28日(土) 雨

17:00 公費の家屋解体撤去作業開始 申請約280件

17:00 り災証明のための家屋調査、一次判定終了

| | | | |
|------|----------------|--------------------------|-------|
| 全壊 | 122戸(8.1%) | | |
| 半壊 | 433戸(28.8%) | 555戸 | 36.9% |
| 一部破損 | 950戸(63.1%) | | |
| 計 | 1,505戸(100.0%) | 全世帯に被害 | |
| | | 70戸は、対象外(公営住宅・官公署住宅等のため) | |

17:00 応急仮設住宅23世帯入居完了

22:00 再度、JR伯備線土砂崩れにより不通（下黒坂・薮津橋付近。10月29日まで）

10月30日（月）曇

8:30 県による被災宅地危険度調査（31日まで）

17:00 本日現在の被害状況

| | | | |
|----------|--------------|--------|-------------|
| 負傷者 | 17人 | (死者なし) | |
| 公共施設 | 41か所 | | 千円 |
| (内、文教施設) | 5か所 | | 105,768千円 |
| 道路災害 | 72か所 | | 634,934千円 |
| 橋梁災害 | 1か所 | | 600千円 |
| 河川災害 | 2か所 | | 6,000千円 |
| 農業災害 | 207か所 | | 475,687千円 |
| 林業災害 | 87か所 | | 159,060千円 |
| 商工業被害 | 100店(売上げ分除外) | | 471,370千円 |
| 上水道被害 | 簡易水道8か所 | | 14,300千円 |
| 下水道被害 | 公共1施設、農集2施設 | | 47,000千円 |
| 日野病院 | 病院全壊、全患者避難 | | 千円 |
| | 調査分合計 | | 1,914,719千円 |

10月31日（火）曇

17:00 ボランティア活動記録（10月分）

屋根のシート掛け、ガレキ処理、家屋の片付け、炊き出し、託児、
マッサージ、心のケア、独居老人世帯の調査など

延べ 2,418人（県内=1,191人、県外=1,227人）

17:00 義援金 239件（10月分）、義援物資 121件（10月分）

17:00 町職員宿直体制終了

17:00 公費による家屋等の解体撤去受付終了（申請279件）

11月 1日（水）雨

7:00 オシドリ観察小屋オープン（仮設）

7:30 ショッピングバス試験運行（根雨駅から日野病院まで）開始

8:30 新築の日野病院（117床）開院（8:00 玄関でテープカットして開院を祝う）

10:00 日野町地震災害復興本部を設置

17:00 大雨・洪水警報発令のため、町職員宿直3人体制をとる

11月 2日（木）雨

4:00 大雨・洪水・雷・強風警報（町水防体制を敷く）

8:00 町道渡線に土砂崩れ・一時通行止め

10:00 国道180号土砂崩れにより全面交通止めのため、農道濁谷滝山線う回路となり、別所交差点で交通整理（16:00まで）

17:00 現在の応援状況

鳥取県の職員派遣（10/6～11/2の延人員565）、11/3以後 土木技師2人派遣
町村職員…113人
泊村…5人、北条町…5人、国府町…12人、郡家町…12人、
福部村…6人、河原町…3人、羽合町…20人、気高町…19人、
青谷町…15人、鳥取市…7人、名和町…5人、日吉津村…4人
消防団員…78人
中山町消防団…12人、大山町消防団…54人、三朝町消防団…12人
日野町消防団出動状況…19日間、延べ307人

11月3日（金） 晴 （文化の日）

- 2:00 国道180号ほかで土砂崩れ
10:00 国道180号は土砂崩れによる全面交通止めのため、農道濁谷滝山線う回路となり、別所交差点で交通整理（12:00まで）

11月4日（土） 晴

- 8:30 別所交差点で交通整理（12:00まで、及び14:30～17:00）
9:00 下本郷自治会からの依頼に基づき給水実施
12:00 日野産・日野高生有志による「元気になる会」を役場駐車場で開催

11月6日（月） 晴

- 9:00 応急仮設住宅入居者第2次募集 2団地5戸
10:00 震災1か月 『今こそ愛と元気なまちづくり』キャンペーン開始

11月7日（火） 晴

- 17:00 公費による家屋等の解体撤去受付延期（11/15まで）

11月9日（木） 晴

- 17:00 応急仮設住宅4戸完成

11月10日（金） 晴のち曇

- 8:30 日野病院、入院受入（患者を移送）開始
10:00 応急仮設住宅入居者説明会 黒坂団地…4戸 野田団地…1戸 入居決定
14:00 町議会臨時会 災害救助費、災害復興対策事業、災害廃棄物処理事業、町施設等修繕工事等の補正予算
一般会計補正予算（第4号）4,10,211千円
（予算の総額9,185,869千円）
地震災害復興予算 5,516,261千円
平成11年度一般会計決算額 3,667,789千円
町議会で地震災害復興対策調査特別委員会を設置
17:00 応急仮設住宅の野田団地に1世帯入居

11月11日（土） 雨

- 9:30 自治会長会議（役場大会議室） 地震被害状況と復興施策について
『今こそ愛と元気なまちづくり』のポスターを全戸配布

11月12日(日) 曇のち雨

17:00 被災証明のための家屋調査、2次判定により修正

| | | |
|------|--------|--|
| 全壊 | 129戸 | (8.5%) |
| 半壊 | 441戸 | (29.1%) |
| 一部破損 | 945戸 | (62.4%) |
| 計 | 1,515戸 | (100%) 全世帯に被害 60戸(公営住宅・官公署住宅等のため除外) |

11月13日(月) 曇

8:30 地震災害復興対策事業確認申請受付開始(11/30まで)

地震災害生活相談開始(11/30まで)

9:00 応急仮設住宅4世帯入居開始(本日中に入居完了)

17:00 老人福祉センターの避難所閉鎖(本日の夕食まで5人在所)

11月15日(水) 雨

17:00 公費による家屋等の解体撤去受付終了

申請…320件

合計507棟(母屋170、長屋48、蔵69、その他220)

(うち、後日取下げ14件、母屋13棟、その他7棟)

17:00 日野町災害対策本部閉鎖

11月18日(土) 晴時々曇

10:30 新日野病院竣工式

11月26日(日) 晴

13:30 おしどり荘が復興応援バザーを山村開発センターで開催。多数参加。

11月30日(木) 晴のち曇

17:00 住宅復興補助金確認申請(11/30まで)

| | |
|----------|--------|
| ・世帯別受付総数 | 1,149件 |
| ・住宅の建替え | 100件 |
| ・住宅の補修 | 977件 |
| ・石垣擁壁の補修 | 335件 |
| ・井戸の修復 | 66件 |

12月8日(金) 晴

13:30 チャレンジショップ出雲街道根雨宿一・二番館がオープン

12月18日(月) 曇のち雨

7:45 ショッピングバス運行(根雨駅~根雨まち~国道180号経由~日野病院)開始

12月20日(水) 曇

16:30 第1回日野町地震災害義援金検討委員会

12月25日(月) 雪

15:40 滝山災害廃棄物仮置場の搬入・搬出の中止の申し入れ(中菅自治会代表者等)

12月26日(火) くもり一時雪

15:30 町長が、応急仮設住宅入居者へ年末のあいさつと激励

12月28日(木) 曇のち雨

8:30 滝山災害廃棄物仮置場の搬入・搬出の中止

20:00 地震(余震)発生状況(10/6~12/31)

震度1……328回、震度2……108回、震度3……46回、
震度4……6回、震度6強…1回、計489回

平成13年

1月1日(月) 曇のち晴 (元旦)

8:30 総務課内に『地震災害住宅復興室』を設置

1月10日(水) 曇のち雨

13:30 第2回地震災害義援金検討委員会

1月17日(水) 雪

16:00 第3回地震災害義援金検討委員会

1月22日(月) 曇

8:30 応急仮設住宅入居者第3次募集(下榎団地)1戸

1月29日(月) 曇時々雪

8:30 滝山災害廃棄物仮置場再開

2月2日(金) 曇時々雪

13:00 被災者向け町営住宅建設検討会

2月5日(月) 晴

13:30 町住宅建設調査委員会(被災者向け町営住宅建設について)

2月6日(火) 曇

10:45 片山鳥取県知事現地視察、激励④(応急仮設住宅等の視察、財政支援等を要望)

13:00 米子震災フォーラム

2月24日(土) 雨

13:30 講演会「災害とボランティア」(開発センター)

3月15日(木) 曇時々雨

17:00 公費による家屋の解体撤去受付再延期(3/31まで)

3月24日(土) 晴

15:28 芸予地震発生(震度6弱)

3月25日(日) 雨

14:10 広島県河内町へ救援物資(ブルーシート・ロープ)を届ける

3月30日(金) 曇時々雨

17:00 公費による家屋解体撤去再受付締切(申請16件・母屋のみ)
地震災害復興事業確認申請締切

4月3日(火) 雨

16:00 片山鳥取県知事現地視察、激励⑤

4月16日(月) 晴

13:20 議会全員協議会で大規模林道日野全域線等災害復旧事業現場視察

5月21日(月) 晴

13:15 片山鳥取県知事現地視察、激励⑥

5月26日(土) 晴

12:40 日野震災シンポジウム(テーマ:鳥取県西部地震の体験を活かしたまちづくり)
日野町文化センター他・約350人が参加

10月6日(土) 晴

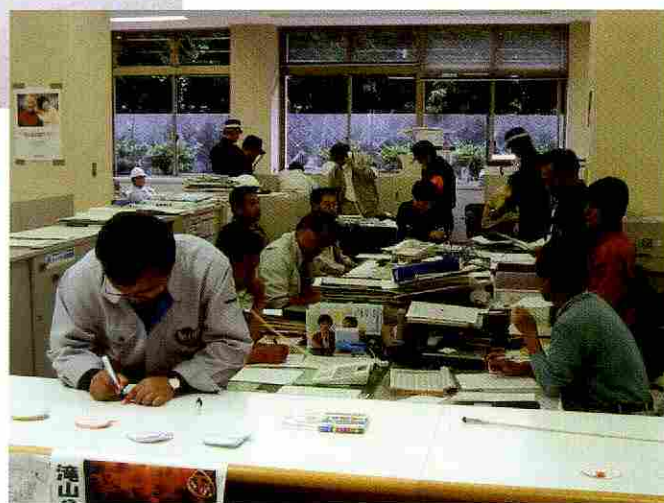
9:00 全町一斉防災訓練

10月14日(日) 晴

11:00 震災復興祈念植樹(中菅・滝山災害廃棄物仮置場)



全町一斉防災訓練、自治会でまとまって避難場所へ
(根雨地区)



同日、役場職員も防災訓練を実施

防災行政無線による住民への周知状況

個別受信機 全世帯 (1,575戸)・主な事業所
屋外拡声器 4か所

10月 6日 (金) 晴

13:35 地震発生 (M7.3 震度6強) 地震発生

13:36 ♪

13:38 ♪

13:40 ♪

13:42 ♪

14:44 ♪

14:46 ♪

14:48 ♪

14:50 ♪

13:43 火災予防

15:38 自治会長に、住民の安否確認を依頼

18:00 日野病院、患者を他の病院に転送 10人 (19:00 計2回)

18:00 避難のお知らせ (18:03、18:05、18:15、18:30、21:53、21:55 計7回)

根雨社会体育館・日野中体育館・町山村開発センター・町公民館
黒坂小体育館・町老人福祉センター・菅福小体育館・町老人憩の家
下榎集会所

18:10 電柱破損のため注意の呼びかけ (保育所・小中学校臨時休校)

21:20 一時水道復旧・空き巣に注意

22:33 水や資材などについて

23:15 給水のお知らせ (23:18、23:25 計3回)

23:40 火の用心

今後も、断続的に余震が起きる可能性があります。ご注意ください。
また、水が出ない所が多いので、火はできるだけ使わないようにして下さい。

10月中の通信回数

| 6日 | 7日 | 8日 | 9日 | 10日 | 11日 | 12日 | 13日 | 14日 | 15日 | 10/6~31計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----------|
| 27回 | 18回 | 18回 | 30回 | 16回 | 34回 | 13回 | 16回 | 10回 | 11回 | 320回 |

町職員活動記録



地震発生直後（午後1時35分）に日野町災害対策本部を設置し、不眠不休で対応（役場庁舎）

災害に強いまちづくりを

日野町災害対策本部副本部長 田 貝 英 雄(日野町助役)

平成12年10月6日(金)は、「第7回全国在宅ケアサミットイン西伯」が米子市内で開催され、多くの職員や町民がこの大会に参加していました。従って、在庁の職員は大変少なかったのです。そんな中、13時30分ごろ「鳥取県西部地震」が発生しました。

「まさか我が町が大地震に遭遇することはあるまい」という意識があり、危機管理に関する知識や体制づくりが貧弱であったと反省せざるを得ません。したがって、発生直後から手探りでの対応が始まりました。

町災害対策本部の行動を総括し、災害に強いまちづくりに活かしていきます。

1. 初動時における職員の行動

- (1) 非常時における町の職員体制は、日ごろから「水防体制」によっていました。従って、「鳥取県西部地震」の初動対応も「水防体制編成表」により対処しました。
- (2) 「町防災計画」は策定していましたが、職員の「初動マニュアル」がありませんでした。そのため、組織的な行動が効率的に機能しませんでした。従って情報を入手した職員が担当班長や私の判断を仰ぎ、その場その場で適切な対応を模索しました。
- (3) いち早く「防災無線」による緊急放送を行いました。「震度6であって、大変強い地震であること。ガス栓を閉めること。一人で行動しないで隣近所や自治会で行動して安全と思われるところに移動すること」と数回繰り返して呼び掛けました。この放送は、緊急時の初期段階に有効で「死者ゼロ、火災なし」の結果につながったと防災専門家や報道関係者から評価をいただきました。
- (4) 職員は一生懸命にこの震災に対処しました。特に初動時においては、不眠不休の対応が数日続きました。

2. 被害状況の把握

発生直後に在庁していた職員は大変少なく、災害体制の編成に多くの時間を要しました。その結果、情報連絡班による被害状況の把握は大変遅れました。しかし、町消防団の出動は素早く、地震発生10分後には出動命令が発せられ被害状況等の調査を開始しました。

一方、町民からの役場への電話は苦情や問い合わせが主体で、被害に関する情報は少なかったため、再確認を兼ねた被害状況の把握を行うため、地震発生の翌日早朝から町消防団と町職員による調査を開始しました。

3. 町消防団をはじめ関係機関との連携

町消防団の出動は前述した通りで、召集後ただちに被害状況の調査を開始しました。もちろん、町災害対策本部と連携した活動です。そして、数日間は不眠不休で活動、また長期間にわたり警戒パトロール・土嚢づくり・ビニールシート張り等の活動が続きました。

町が直接陸上自衛隊への出動要請したのは10月6日17時でした。同日21時に炊き出し班と給水車6台が到着。また鳥取県が要請した工作処理班は、翌日7日から町災害対策本部と連携し活動しました。そして、9日からは自衛隊による仮設風呂を町内3か所に設置していただきました。

また、西部広域消防は、地震発生直後、工事現場の土砂崩れによる災害箇所へ出動。その後も町災害対策本部と連携し活動していただきました。

4. 鳥取県との連携と県職員の派遣

鳥取県は、地震発生後速やかに県災害対策本部を立ち上げられました。また、防災ヘリコプ